各位



平成 30 年 6 月 13 日

会社名 株式会社テンポスホールディングス 代表者名 代表取締役社長 森下 篤史

(コード番号: 2751 JASDAQ)

問合せ先 管理部長 毛利 聡

TEL 03-3736-0319(代表)

(訂正)「平成30年4月期 決算短信 [日本基準] (連結) | の一部訂正について

平成30年6月11日に公表いたしました「平成30年4月期 決算短信〔日本基準〕(連 結)」を下記のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

記

1. 訂正の理由

決算短信 1.経営成績等の概況(1)当期の経営成績の概況、3.連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等) 3 報告セグメントごとの売上高、利益 又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報、4 報告セグメント合計額と連結財務諸表 計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)、【報告セグメントごとののれん の償却額及び未償却額残高に関する情報】、【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情 報】の記載に誤りがあったため、訂正を行うものであります。

2. 訂正の箇所

1. 経営成績等の概況(1) 当期の経営成績の概況

(訂正前)

これらにより物販事業の当連結会計年度の売上高は 147 億 7 百万円(前年同期比 3.9%増)、営 業利益は9億27百万円(同11.0%減)となっております。

(訂正後)

これらにより物販事業の当連結会計年度の売上高は147億7百万円(前年同期比3.9%増)、営 業利益は10億89百万円(同4.3%増)となっております。

(訂正前)

これらにより情報・サービス事業の当連結会計年度の売上高は46億49百万円(前年同期比 19.7%増)、営業利益は3億23百万円(同3.65%増)となっております。

(訂正後)

これらにより情報・サービス事業の当連結会計年度の売上高は 46 億 49 百万円 (前年同期比 19.7%増)、<u>営業利益は 3 億 61 百万円 (同 15.9%増)</u>となっております。

(訂正前)

これらにより飲食事業の当連結会計年度の売上高は99億48百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は7億72百万円(同9.6%減)となっております。

(訂正後)

これらにより飲食事業の当連結会計年度の売上高は99億48百万円(前年同期比5.5%増)、営業利益は7億64百万円(同10.5%減)となっております。

- 3. 連結財務諸表及び主な注記
- (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報 (訂正前)

当連結会計年度(自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日)

	報告セグメント					合 計	
	物販事業	情報・サービス事業	飲食事業	計	調整額	П В	
売上高							
外部顧客への売上高	14, 717	4, 649	9, 948	29, 315	_	29, 315	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	747	283	-	1, 031	△1,031	-	
	15, 465	4, 932	9, 948	30, 346	△1,031	29, 315	
セグメント利益	927	323	<u>772</u>	2, 023	△16	2, 007	
セグメント資産	11, 576	2, 695	4, 406	18, 677	<u>△</u> 4, 525	14, 152	
セグメント負債	2, 578	1, 430	1,842	<u>5, 851</u>	<u>△</u> 1, 285	4, 566	
その他の項目							
減価償却費	33	12	159	205	_	205	
のれんの償却費	_	<u>32</u>	<u>32</u>	64	_	64	
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	<u>△17</u>	<u>84</u>	<u>△213</u>	<u>△146</u>	_	146	

(訂正後) 当連結会計年度(自 平成 29 年 5 月 1 日 至 平成 30 年 4 月 30 日)

			细軟炬	合 計			
	物販事業	情報・サービス事業	飲食事業	計	調整額		
売上高							
外部顧客への売上高	14, 717	4, 649	9, 948	29, 315	_	29, 315	
セグメント間の内部 売上高又は振替高	747	283	l	1,031	△1,031	_	
計	15, 465	4, 932	9, 948	30, 346	△1,031	29, 315	
セグメント利益	1,089	<u>361</u>	<u>764</u>	<u>2, 215</u>	△208	2, 007	
セグメント資産	8, 149	2, 841	<u>4, 469</u>	<u>15, 460</u>	<u>△</u> 1, 307	14, 152	
セグメント負債	2, 495	<u>1, 342</u>	2,032	5, 871	<u>△</u> 1, 304	4, 566	
その他の項目							
減価償却費	33	12	159	205	_	205	
のれんの償却費	_	<u>28</u>	<u>36</u>	64	_	64	
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	<u>15</u>	<u>194</u>	<u>355</u>	<u>565</u>	_	146	

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項) (訂正前)

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2, 210	<u>2, 023, 681</u>
セグメント間取引消去	△55	<u>△16</u>
連結財務諸表の営業利益	2, 154	2,007

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13, 542	<u>18, 677</u>
全社資産 (注)	317	216
調整額	$\triangle 1,293$	<u>△4, 741</u>
連結財務諸表の資産合計	12, 566	14, 152

(注) 全社資産は主に報告セグメントに帰属しない投資有価証券であります

of the order str	報告セク	ゲメント	調	整額	連結財務	答諸表計
その他の資産	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	241	205	_		241	205
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	218	<u>△146</u>	_	_	218	<u>△146</u>
のれんの償却	35	64	17	_	53	64

(訂正後)

(単位:百万円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2, 210	<u>2, 082</u>
セグメント間取引消去	△55	<u>△75</u>
連結財務諸表の営業利益	2, 154	2,007

(単位:百万円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	13, 542	<u>15, 460</u>
全社資産 (注)	317	216
調整額	$\triangle 1,293$	<u>△1, 523</u>
連結財務諸表の資産合計	12, 566	14, 152

(注) 全社資産は主に報告セグメントに帰属しない投資有価証券であります

						. 0 /3 1/
7 0 14 0 15 75	報告セグメント		調	整額	連結財務諸表計	
その他の資産	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度	前連結 会計年度	当連結 会計年度
減価償却費	241	205	_	_	241	205
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	218	<u>565</u>	_	_	218	<u>565</u>
のれんの償却	35	64	17		53	64

(訂正前)

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度(自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日)

(単位:百万円)

		報告セ	アグメント	人社. ※土	∧ ∌I.	
	物販事業	情報・サービス事業	飲食事業	計	全社・消去	合計
当期末残高	_	=	32	32	32	64

(訂正後)

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

当連結会計年度(自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日)

(単位:百万円)

		報告セ	人 44. ※ 十	∧ ∌l.		
	物販事業	情報・サービス事業	飲食事業	計	全社・消去	合計
当期末残高	_	<u>28</u>	<u>36</u>	<u>64</u>	=	64

(訂正前)

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 平成28年5月1日 至 平成29年4月30日) 該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日) 該当事項はありません。

(訂正後)

【のれんの金額の重要な変動】

前連結会計年度(自 平成28年5月1日 至 平成29年4月30日) 該当事項はありません。

当連結会計年度(自 平成29年5月1日 至 平成30年4月30日)

当連結会計期間において株式会社ディースパークの株式を取得し、連結の範囲に含めたことに伴い、「情報・サービス事業」のセグメントにおいて 171 百万円、「飲食事業」のセグメントにおいて 63 百万円ののれんが発生しております。